

## マイクロバブルに関する共同特許の取得について

当社は 2015 年から半導体洗浄の分野に於けるマイクロバブルの研究開発に着手し 当該分野の知見を蓄え 2018 年より 東北大学未来科学技術共同研究センターに於きまして 同大学とのマイクロバブルに関する共同研究を開始いたしております。

この度 令和 6 年 2 月 2 日発行の「特許公報 (B2) 」(日本国特許庁発行)に半導体「ウエハ基板の洗浄方法」に係る共同特許として 下記の通り記載公示されました。

特許番号 特許第 7426620 号

登録日 令和 6 年 1 月 25 日

特許権者 504157024 国立大学法人東北大学

特許権者 500343773 株式会社ダン・タクマ

東北大学未来科学技術共同研究センター・未来情報産業研究館に於ける共同研究の機会に恵まれました事及び 平素より共同研究を通してご指導を賜りました 教授 白井泰雪博士 ならびに 特任教授の高橋正好博士に深く感謝申し上げる次第でございます。

マイクロバブルに関する発生装置につきましては 当該特許権者との日本市場に於ける独占的特許実施権許諾契約を締結しております。 これに加え、此の度の特許技術の発明により、発生装置及び洗浄方法・マイクロバブルの使用方法・アプリケーション双方に亘る包括的な知見を有する事で、平素よりご愛顧を頂戴致しております半導体・電子デバイス業界のお客様に対し更に貢献できるものと考えます。今後とも当社のコア・コンピテンシーでもある「お客様に寄添い お客様目線で現実的な要望にお応えし課題解決を助勢する」ことで、サイズ感はコンパクトではありますが「半導体電子デバイス業界製造分野には欠かせない必須の存在であり続けること」が出来ます様、更に社員一同 精進して参りたいと考えております。

当社は 環境装置・再生可能エネルギープラントメーカーであるタクマグループの事業活動の下 「半導体・電子デバイス業界製造分野が その製造プロセスに求める高度にクリーンな環境の創造と維持」を供給する事によって、社会・環境課題（ESG 課題）への取り組みの一端を担い 当社に於ける取り組みは勿論の事 半導体・電子デバイス業界に貢献すること、即ち 業界のお客様への貢献を介して 持続可能な社会の実現（；SDG s）に寄与すると共に事業活動を通じて広く社会に貢献することを目指しております。

此度の 東北大学との共同特許の取得は、当社の事業目標の達成を大きく助勢し ご愛顧頂いております 半導体・電子デバイス製造分野のお客様に、より一層お役に立てる機会を得たものと考え、お客様に寄添い協働させて戴きながら課題解決に資する活動を行う事により 当社の企業価値の向上に努めて参りたいと考えております。

今後共 相変わらぬ ご指導ご鞭撻の程 何卒宜しくお願い申し上げます。

2024年4月1日

代表取締役社長

